

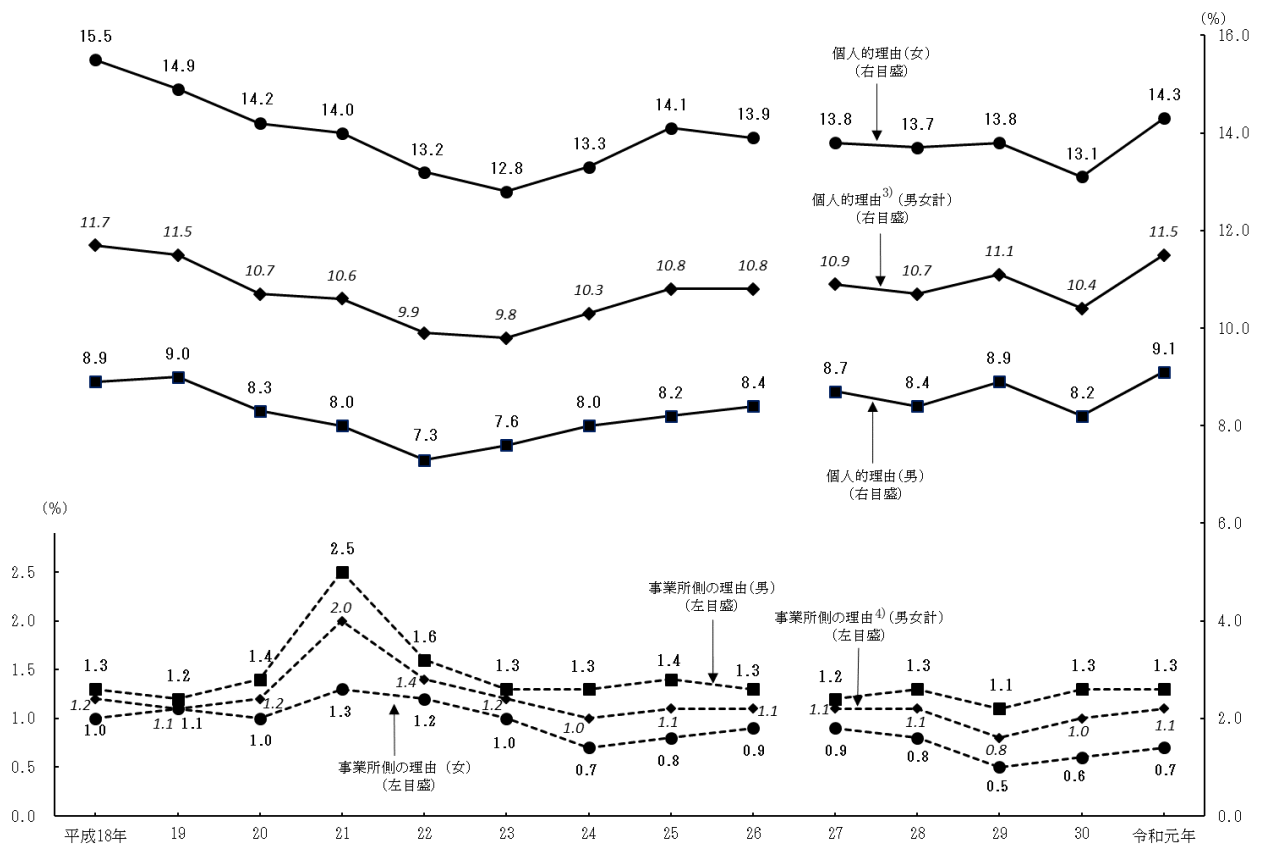
## 5 離職理由別離職の状況

### (1) 離職理由別離職率の推移

令和元年 1 年間の離職率を離職理由別にみると、「個人的理由」（「結婚」「出産・育児」「介護・看護」及び「その他の個人的理由」の合計）によるものは 11.5%で、前年と比べると、1.1 ポイント上昇し、「事業所側の理由」（「経営上の都合」「出向」及び「出向元への復帰」の合計）によるものは 1.1%で、0.1 ポイント上昇した。

性別にみると、「個人的理由」によるものは、男性は 9.1%、女性は 14.3%で、前年と比べると男性は 0.9 ポイント、女性は 1.2 ポイント上昇し、「事業所側の理由」によるものは、男性は 1.3%、女性は 0.7%で、前年と比べると男性は横ばい、女性は 0.1 ポイント上昇した。（図 7）

図 7 離職理由<sup>1)</sup>別離職率<sup>2)</sup>の推移



注：平成26年以前は再集計前の数値であり、平成27年以降とは接続しない。3頁の利用上の注意8を参照。

平成30年以前は調査対象産業「宿泊業、飲食サービス業」のうち「バー、キャバレー、ナイトクラブ」を除外している。

1) 「離職理由」は離職者がいた事業所が回答した理由である。

2) 離職理由別離職率 =  $\frac{\text{離職理由別離職者数}}{\text{1月1日現在の常用労働者数}} \times 100 (\%)$

3) 「個人的理由」は「結婚」「出産・育児」「介護・看護」及び「その他の個人的理由」の合計である。

4) 「事業所側の理由」は「経営上の都合」「出向」及び「出向元への復帰」の合計である。

## (2) 結婚、出産・育児を理由とする離職率（女性）

女性について令和元年1年間の結婚を理由とする離職率を年齢階級別にみると、25～29歳で最も高くなっている。就業形態別にみると、30～34歳を除いてパートタイム労働者より一般労働者の方が離職率が高くなっている。

また、出産・育児を理由とする離職率を年齢階級別にみると、25～29歳、30～34歳で最も高くなっている。就業形態別にみると、19歳以下から30～34歳までの各年齢階級で一般労働者よりパートタイム労働者の方が離職率が高くなっている。（表8）

表8 結婚、出産・育児を理由とする離職率（令和元年）

（単位：％）

区 分	女					
	結婚			出産・育児		
	計	一般労働者	パートタイム労働者	計	一般労働者	パートタイム労働者
計	0.3 (0.5)	0.5 (0.8)	0.1 (0.1)	0.4 (0.4)	0.4 (0.4)	0.4 (0.4)
19歳以下	- (0.0)	- (0.1)	- (0.0)	0.3 (0.0)	0.0 (0.1)	0.4 (-)
20～24歳	0.4 (1.1)	0.5 (1.4)	0.1 (0.4)	0.6 (0.5)	0.2 (0.2)	1.1 (1.1)
25～29歳	1.9 (2.2)	2.3 (2.7)	0.2 (0.4)	1.3 (1.4)	1.1 (0.9)	2.1 (3.3)
30～34歳	0.7 (0.8)	0.6 (0.9)	1.0 (0.3)	1.3 (1.5)	1.0 (1.3)	2.1 (1.9)
35～39歳	0.2 (1.0)	0.3 (1.2)	0.1 (0.5)	0.6 (0.6)	0.8 (0.8)	0.4 (0.4)
40～44歳	0.1 (0.1)	0.2 (0.2)	0.0 (0.0)	0.2 (0.3)	0.2 (0.4)	0.1 (0.2)
45～49歳	0.1 (0.2)	0.1 (0.3)	- (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)

注：年齢階級については50～54歳以降を省略した（0.0又は該当数字がないため）。

（ ）内は平成30年の調査結果である。

平成30年は調査対象産業「宿泊業、飲食サービス業」のうち「バー、キャバレー、ナイトクラブ」を除外している。

## (3) 介護・看護を理由とする離職率

令和元年1年間の介護・看護を理由とする離職率を性、就業形態、年齢階級別にみると、男性ではパートタイム労働者の50～54歳、女性ではパートタイム労働者の60～64歳が他の就業形態、年齢階級に比べ高くなっている（表9）。

表9 介護・看護を理由とする離職率（令和元年）

（単位：％）

区 分	男			女		
	計	一般労働者	パートタイム労働者	計	一般労働者	パートタイム労働者
計	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	0.3 (0.3)	0.2 (0.3)	0.5 (0.4)
19歳以下	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	- (-)	0.0 (0.1)	0.0 (0.4)	- (0.0)
20～24歳	0.0 (0.1)	0.0 (0.2)	0.0 (0.0)	0.3 (0.1)	0.2 (0.1)	0.4 (0.1)
25～29歳	0.0 (0.1)	0.0 (0.1)	0.0 (0.0)	0.3 (0.1)	0.1 (0.1)	1.0 (0.2)
30～34歳	0.0 (0.1)	0.0 (0.1)	0.0 (0.0)	0.4 (0.1)	0.4 (0.1)	0.2 (0.0)
35～39歳	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	- (0.0)	0.1 (0.1)	0.0 (0.1)	0.1 (0.1)
40～44歳	0.0 (0.1)	0.0 (0.1)	0.1 (0.2)	0.1 (0.3)	0.1 (0.1)	0.2 (0.5)
45～49歳	0.1 (0.0)	0.1 (0.0)	0.0 (0.2)	0.3 (0.5)	0.2 (0.2)	0.3 (0.9)
50～54歳	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	0.6 (0.4)	0.4 (0.5)	0.2 (0.7)	0.7 (0.3)
55～59歳	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	0.1 (0.4)	0.7 (0.7)	0.8 (0.9)	0.6 (0.5)
60～64歳	0.1 (0.1)	0.1 (0.0)	0.1 (0.2)	1.1 (0.8)	0.7 (1.4)	1.4 (0.4)
65歳以上	0.2 (0.0)	0.2 (0.0)	0.2 (0.0)	0.3 (0.5)	0.1 (0.2)	0.3 (0.5)

注：（ ）内は平成30年の調査結果である。

平成30年は調査対象産業「宿泊業、飲食サービス業」のうち「バー、キャバレー、ナイトクラブ」を除外している。